

神海丸だより

第3号

操業も半分以上が過ぎました。本科生は最初のうちは戸惑うこともありましたが、少しずつ作業も覚え自ら行動できるようになってきました。操業には、早朝から昼前まで行われる投縄と、午後から夜中まで行われる揚縄が毎日あります。全員が操業に参加するわけではなく、投縄班と、揚縄は3班に分かれておおよそ時間で区切って行われます。また、航海科、機関科に分かれて航海当直に入る生徒もいます。これらは日によって交代で行います。

●操業中の様子です。

自分の身長と同じくらいのマグロがどんどん船上に揚がってきて生徒たちも笑顔です。



マグロだけでは、ありません。他にも色々な魚が取れます！



●当直中の様子です。航海科・機関科ともに教科書でしか学習しなかったことを実際に見て、触れて、体験して、理解する学習をしています。



●神海丸に乗船してみて将来、船で働きたいと考えている生徒も増えており、将来に向けた自主学習にも一生懸命頑張っています。



●食事の様子です。司厨長が体の栄養を考えたメニューをいつも出してくれます。



●本日の夕食は、ごはん、みそ汁、肉の炒め物、鮭のチーズ乗せ、アカテン、サラダ、ヨーグルトです。どれも美味しいです！！

